

一般質問

5月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

林業の成長産業化について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 林業の成長産業化を前に進めようと国が新たな森林・林業基本計画を策定し森林法の改正が行われた。追い風が吹く今日の林業復活の兆しや流れをどう我が県の林業振興に結びつけていくのか？知事の所見を問う。

答 成長戦略を進める上で我が県として38万立米の生産を目標にしている。これに向け八頭中央森林組合では10万立米を目標とし大型機導入も目指している。我々としても国の戦略と同じベクトルで林業の成長産業化を戦略的に進めていきたい。

建築技術の伝承と農林業人材の育成



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①県が整備する建物に大工の墨付けや土壁の技術を取り入れてはどうか。特に小規模の駐在所等へ取り組んではどうか。②農業、林業の人材育成のため、智頭農林高校などで生徒を県外から募集してはどうか。

答 ①建設中の鳥取西高芸術棟の渡廊下などモデル的な利用例として検討したい。(警察本部長)八橋警察署等で左官仕上げを採用しており、今後も検討したい。②(教育長)地元や学校と一体となって県外生徒の受入れに力を入れて取り組みたい。

障がい者施策の推進について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 本県において障がい者に対する施策の取り組みについてどのように展開、推進されるのか。

答 障害者差別解消法に先駆け「あいサポート運動」の推進、「工賃3倍運動」の推進、全国初の「手話言語条例」の制定と「盲・ろう者支援センター」の設立、「重度障がい児への医療型ショートステイサービス」の実施、「文化芸術の祭典」の開催などに取り組んでいるが、全国を先導してでも思い切って地域の絆、鳥取らしい絆を生かした社会づくりを進めてまいりたい。

農家所得の向上を



木村 和久 議員

選挙区 鳥取市
会派 民進党

問 砂というブランディングの優位性も含め、収益性の高い安定供給型野菜生産、高床式砂栽培の可能性と導入に向けて、速やかに検討を進めて頂きたい。

答 新しい農業の形態も含めて独自の計画を立て、検証されなければならないが、県もセーフティネットとして支えたいと思う。みんなでやらいや農業支援総合事業やアグリビジネスの参入する事業もあり、初期投資を支えれば回るという話であり、今後個別に相談に応じたい。

防災体制、地方創生について



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①熊本地震の現状を踏まえ、県内防災体制の見直しが必要ではないか。

②地方創生加速化交付金について、事業申請が不採択となった市町村に対しての対応を問う。

答 ①避難所の設営の仕方、福祉避難所のあり方など、今後の地域防災計画の見直しに生かしたい。②交付金のあり方について、中国地方知事会や関西広域連合で政府に改善を求める申し入れをしている。申請にあたっては、より緊密に県としても応援、サポートさせていただく。

若者の政治参加 SNS で情報発信



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 民進党

問 ①直近の国政選挙で、60代は約1,300万人が投票し、20代は僅か約400万人しか投票しない。政策が高齢者向けになるのは当然だ。「あなたの一票で政治は変わらない。あなたの一票の積み重ねで政治は変わる。」ということを教育すべきだ②若者への情報発信により政治参加を促せると考える。知事もフェイスブックを始めてはどうか。

答 ①(教育長)大切なこと。主権者教育の枠組みの中で取り組みたい②別のやり方で広報するが折角の意見なので今後考える。

子供の読書が大人 の読書習慣の基礎



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 子どもの読書活動を推進することが大人の読書習慣の基礎と思うが所見は。

答 (教育長)子どもの頃から読書に親しむことが読解力や思考力、想像力を養い、人生を深く考え生きる力を身に付けるうえで欠くことができないもの。そして読書は自ら考え行動し社会参画するための知識を身につけられる術である。読書習慣を生涯にわたって身につけ学び続けることも期待できる。子どもの読書活動の推進に向けて県としても環境整備に努めていく。

災害対応について 日本遺産について



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①中小企業のBCP策定計画の見直しと拡充策は②非構造部材の耐震化が加速する制度の創出を③住宅の耐震化促進策が必要④大山開山1300年祭に向け、日本遺産構成文化財を見られるようインフラ整備が必要。

答 ①BCP計画の促進策をインセンティブも含め講じる。拡充加速に努める②制度拡充を国に要望する③補助制度の拡充を検討する④指摘を踏まえ、こういう事業をやるという前提で補正予算も含めて提案したい。これから中身づくりを明確化したい。

水産と福祉が連携 「海の駅よどえ」



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 障がい者と地域住民が一体となって食材・魚類販売などを行う「海の駅よどえ」の取り組みについて所見を伺う。

答 県も公的にも応援をするが、大切なのは、地域の理解を得ながらそれを現実のことにしていくことだと思う。いろんな応援団がいてこのプロジェクトが前に進んでおり、まさにシンボリックな事業だと思う。今回の淀江の漁港におけるプロジェクトが実現すればというふうに願っている。

熊本地震を教訓に 災害対応の強化を



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①物資輸送の一端を住民も担う形を②乳幼児がいる女性専用の避難所を③ネット災害情報の活用整理に学生参画を④早期に学校が再開できる仕組みを。

答 ①住民協力は大切で今年度検討したい②学校の部屋を使うなどの工夫を市町村と協議する③鳥取大学や環境大学とも相談したい。ヤフー、グーグルと災害時の協定締結を検討中で、若者の情報収集を合わせた情報提供を考えたい④(教育長)岩手県教委作成の学校再開ガイドラインを参考に指針を検討したい。

熊本地震の教訓 マンガ美術館



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

問 ①熊本地震の教訓を生かした協定や訓練の見直しと、ボランティアの有意義な活動ができる体制作りを。②立地、まちづくり、必要な機能確保の視点から北栄町に県立マンガ美術館の建設をしてはどうか。

答 ①他県や各方面と相互応援の協定や体制作りを進め、訓練と併せさらに推進する。ボランティアセンターのあり方を検証する②マンガ美術館は著作権等課題が多く難しい。地元商工会の商業施設構想のような形で賑わいを作るのが筋道だと思う。

2045年問題に対する県の対応は？



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

問 2045年までに人間を超えるAI(人工知能)が実現すると言われており、産業構造や働き方、教育の在り方などの根本的な見直しが必要になる。県としても今から対応が必要だと考えるがどうか？

答 AIの進化については、大きな歴史の転換点に立っており、今後の道行きを決めていく重要な局面にあると思う。県としても産業政策や福祉のあり方、また人材育成などを見直すべき時期に入ってきたのではないかと考えている。

民生委員の重要性和陸上養殖の今後



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①民生児童委員の活動に重要なのは住民との信頼関係。民生委員制度や活動内容の周知が必要ではないか②井戸海水でのマサバの陸上養殖事業が3年経過したが実績と将来性を伺う。

答 ①民生児童委員の志と活動なしに地域の安心は得られない。市町村とも協議し、活動しやすい環境づくりを進める②3年経過しビジネス化への端緒が開かれつつある。県独自の技術として引き続き事業者への支援を行い、さらにいろいろな水産の技術展開へ道筋を作りたい。

ひきこもり支援の拡充と体制強化を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ひきこもり人口や相談件数が増加する中、市町村単位で、人材育成をはじめとした生活支援センター等の体制の整備が重要。生活支援、社会参加、就労訓練等の隙間のない鳥取方式の支援体制をつくるべきと考えるが知事に伺う。

答 生活自立、社会参加、就労へと繋げて行く体制整備を進めれば鳥取らしい展開ができる。今年度より、現場の状況を伺い、事業所に対する県からの報酬も5割増やし、取り組みが広がりやすくなるようにしていく。

安全な出産体制と望まない妊娠防止



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 ①リスクを伴う妊娠・出産が増加の中、県全域の周産期医療の整備、中部医療圏の現状は？②本県は人工妊娠中絶率が高く妊娠してからの対応では遅く、早期の教育が大切。高校での取り組みのさらなる充実を求める。

答 ①周産期体制は鳥大を要としNICU(※1)やMFICU(※2)を整備。中央病院も中枢機能を果たす。中部では厚生病院は助産師外来、打吹クリニックは待機手当てで人材を確保②思春期のピアカウンセラー制度を看護大学などにも要請し充実を図る。

県立美術館建設の推進を



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 民進党

問 美術館建設について消極的な意見があるが、美術館では、だれもが自らの感性で美に感動することを通して豊かな人間性を育め、郷土作家の作品を観て、ふるさとに対する愛情と誇りを持つことができる。県内に美術館は必要で、推進すべきだ。

答 美術館建設はポジティブに考えてはいるが、どうするかは県民議論を経て収れんさせる。郷土作家に光を当てて地域の誇りを感じたり美術館の中で授業するのも必要なポイント。コストだけでは測れないものがある。

淀江産業廃棄物最終処分場について



松田 正 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 本当にこの地に建設したいのならば、知事自身が地元に対してメッセージを発するなど、条例上の範囲の自治会のみならず、より多くの皆さんの賛同を得る努力が必要であると考えますが、いかがか。

答 条例上の範囲はもちろん、それ以外でも必要があれば説明責任を果たしていただくようにセンターに対して改めて申し上げたい。私からのメッセージは、事態の推移に応じてきちんと地元のお気持ちに添えていけるように行動をとってまいりたい。

※1 NICU……新生児集中治療室
※2 MFICU……母体・胎児集中治療室

鳥取県立美術館 整備について



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 民進党

問 美術館のミッションとは、美術鑑賞の楽しみ方を伝えること。創作者、鑑賞者、芸術の理解者、芸術を楽しむ人などの人づくりだと考えるがどうか。

答 美術館は、異次元を体験できるという意味で他とは違った公共施設。多くの方々の人生に彩りを与えたり、才能を開花させたり、地域の元気を作ったり、県内外、国内外の人を引き寄せるよすがにもなると考える。(教育委員長)美術館の本来の目的が人をつくることであることについて、全面的に同意する。

県立美術館問題 過去の課題対応は



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 民進党

問 現在美術館建設に向け集中的に議論されているが凍結されている鳥取市桂見への対応は。消費増税先送りで県の税収は32億円減。社会保障費は毎年20億円伸びる中、財政見通しが示されず判断材料がない。提示を。

答 美術館建設が決着する際において、過去の課題についても鳥取市側と協議する用意はある。少し財政的なフレームが組みづらい不透明な時期に入っているが、議会の関心も高いので、教育委員会から案が示されれば、財政試算を提示したい。

原発廃炉計画・安定 ヨウ素剤・県住



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市
会派 共産党

問 ①島根1号機の使用済み核燃料搬出予定先の青森県六ヶ所村は22回も稼働延期だ。稼働しない場合の計画を明記すべき②安定ヨウ素剤の事前配布を③鳥取・倉吉市の入居者による県営住宅の水道料集金も米子市のように不平等解消措置を実施せよ。

答 ①搬出、処分体制作りなど段階的に協議の場を中電に求める②両市がどういう体制がいいか、避難経路の想定も含め検討。県はサポートする③米子市は暫定的措置。水道局の同様な給水方式導入で県も同様な対応する。

憲法、国保、保育、 雇用、タクシー



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

問 ①自民改憲案の所感②国保県単位化の対応③保健所鳥取市移管の精神障がい者対応④保育士配置基準引下げ条例撤回⑤有料老人ホーム不当解雇の指導⑥鳥取空港のタクシー位置づけ。

答 ①憲法制定権は国民にあり、基本原則の国民主権、基本的人権、平和主義改変は限界ある②一般会計繰入解消を記載するが対応は市町村。市町村の保険料減免は適切。法令違反の差押えは協議③県が説明会開催と意見交換④利用は園の判断⑤指導する⑥ルールを関係者で協議。

シングルマザーの 困難を考える



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 民進党

問 ①シングルマザーが困難を抱える社会の現状と、支援情報入手についての工夫は②学校ではチーム対応が必要。取組みは進んでいるか③教師の人材育成、学校現場を変える取組みは。

答 ①幸せの大きさを大きくする住みやすい社会づくりに全力を挙げる。情報は児童手当現況届窓口での提供を検討。相談できる環境も整える。(教育長)②ケース会議の定例化が少しずつ広がっており更に広げたい③良い取組みを県下に広め、教員の人材育成に取り組んでいく。

美術館・博物館は セットで検討を



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 博物館はいずれ今の場所には何もなくなるとの前提で、美術館・博物館はそれぞれ別に構想を立てるのではなく、セットで検討すべき。

答 (教育長)博物館は史跡指定地内で増築・拡張は困難だが、耐震改修等で今後も一定程度使用可能である。美術館整備についてきちんと構想がまとまってから博物館について本格検討するのがよいが、必要な事項があれば、美術館の構想検討委員会、議会にも提示し、その都度検討・提供させていただく。

境港竹内南ターミナルと水族館整備



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①現在計画されているターミナルは世界最大級の客船が係留可能か②今後の取組みと予算確保の見通しは③教育的見地からみた水族館の意義と必要性は④充実した施設とするため水族館は県立とすべきではないか。

答 ①岸壁を前後に延ばせば可能と考える②東京五輪の影響などグループ熱は高まっている。動向を睨みながら対策を考える③(教育長)自然や自然科学への理解を深める橋渡し等の意義、役割がある④境港市が主役となって当たられるのが本来の筋道。

県立大学の新たな設置について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 鳥取県の大きな課題の一つが、18歳から20歳代前半の人口流出だ。この問題を解決するために高等教育機関を設置することが大きな解決策になると考える。文部科学省が専門職大学を2019年度に新たな制度としてスタートすると聞いた。農業大学の専門職大学化を模索すべきと考えるが、知事の所見は。

答 専門職大学の設置については、現在、中央教育審議会の答申が先月出された段階。引き続き情報収集を進めたいと考えている。

外来語の氾濫・図書館の運営と「知る権利」



稲田 寿久 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①外来語の氾濫と行政上の用語使用は社会学者やマスコミ関係の見識ある議論がある。外来語受け入れ論、排撃論ある中で、県民目線これらをどの様に取り扱うのか②図書館の蔵書の購入、廃棄は「知る権利」との関係で、その裁量権は単なる請求権か反射的利益に対するもので異なる見解がある。どんな対応をとるのか。

答 ①庁内で現場の声を聞き、モデルとなる基準を考えてみる②二つの平面があり、理念と現実の折り合いをつけて運営する。

会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】会派民進党
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団
- 【希望】鳥取県議会会派希望
- 【共産党】日本共産党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁を含む）。教育長、教育委員長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。

関西広域連合議会で鳥取県選出議員が質問!

関西広域連合は、平成22年12月、本県を含む関西圏の2府5県で設立された(現在の構成団体:2府6県4政令市)。その広域連合の議事機関(議決機関)として「関西広域連合議会」がある。

「関西広域連合議会」は、各構成団体の議会から選出された39名の議員で組織され、条例の制定改廃、予算の議決、決算の認定等の議決事件の議決等の審議を行っている。

本県議会からは、前田議員(鳥取県議会自由民主党)、興治議員(会派民進党)が選出されている。

両議員は共に「総務常任委員会」に所属し、一方で、それぞれ「防災医療常任委員会(前田議員)」、「産業環境常任委員会(興治議員)」に所属、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っている。

【関西広域連合議会における質問事項】

前田 八壽彦 議員



- 関西広域救急医療連携について
- 中山間地域における医療過疎対策について
- 微小粒子状物質PM2.5への対応について
- 中山間地域における医師・看護師確保等について
- 地域住民の声を聞くシステムについて

興治 英夫 議員



- 関西3時間圏域の実現
- 関西主要港湾の連携
- 山陰海岸ジオパークへの勧告に対する取組
- 関西中心部から周辺部への観光誘客
- スポーツ・エコツーリズムの広域的展開